



図書だよ



よみきかせ会

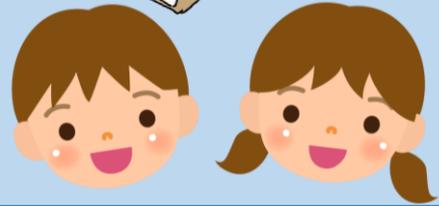
みずはし 水橋の みんな 民話 「 づか きつね塚 」

を聞いて

- 銀ぎつねがかわいそうだった。
- 大男が星をかぞえるところが、おもしろかった。
- きつねが大男にばけているところが、ふしぎ。
- 水橋の田んぼでお米ができて、すごいと思った。



1年



2年



- きつねが目をあけたまましぬところが、心に残った。
- きつねが星の数をかぞえながらしんでいたのが、かわいそうだった。
- きつねの家をまもるために、人間にへんしんして、おもしろかった。

- 水橋のことをもっと知りたいと思った。

- むかしの人は電車や車がないから、歩いてどこかにいくんだなと思った。

- 水橋の田んぼは、このお話のようにできたんだなと思った。

- どうして、そこまで星の数をかぞえるのか、わからなかった。

- 水橋の民話が聞けてよかった。地域ごとにいろいろな民話があるのだなと思った。

3年



4年



• ぎつねが^{おおおとこ}大男になって、自分たちのいる^{じぶん}場所をなくさないで^{ばしよ}とうったえ
ているところに^{かんどう}感動した。



• 主人公（^{しゅじんこう}正満又右衛門^{しょうまんまたう えもん}）は、やさしい^{おも}と思った。

• ^{ぎん}銀ぎつねのおかげで^た田んぼがよくできた。

5年

• 大男が「^{おおおとこ}砂の数を知っているのか？」と言って、次に又右衛門が「^{ほし}星の数を知っているのか？」と言ったところが、^{かえ}そう返すとは思わなかったし、^{おも}おもしろかった。

• ぎつねのために^{つか}塚をつくるなんて、やさしい^{おも}と思った。^{かんしゃ}感謝もしていた^{おも}と思った。

• ^な亡くなった^めぎつねの目をやさしく^{また}とじてあげた^{また}又右衛門はやさしい^{おも}と思った。



6年

• むかし、あれ^ち地とは知らなかった。 • ^{どうぶつ}動物を大切に^{たいせつ}したい^{おも}と思った。

• むかしの^{みずはし}水橋が^{そうそう}想像できた。大きい^{おお}川や広い^{かわ}野原が^{ひろ}広がっているところな
ど、イメージができた。これからも、きれいな^{みずはし}水橋を守りたい^{おも}と思った。

• ^た田んぼがきれいなのは、むかしから「^{つか}ぎつね塚^{かた}」を語りついできたからなの
か^{おも}と思った。



吉谷先生

水橋の土地については、歴史の本を読んで少し知っていましたが、民話としてぎつねが出てきて、今の水橋の田園風景が広がっていることが分かり、とても興味深かったです。ありがとうございました。

ありがとう
ございます!



光里先生

お話の中に出てきた「ぎつね塚」が本当に水橋にあると聞き、このような民話をきかせることの素晴らしさを感じました。ありがとうございました。



田中先生

水橋の民話ということで、この地域の自然の豊かさや、米作りに対する人々の思いが、ずっと古くから受け継がれてきた場所なのだと思いました。人と動物の共存の在り方など、心が温まるだけでなく、考えさせられるお話でした。

*たくさんの感想文をお寄せいただきまして、

ありがとうございました。

